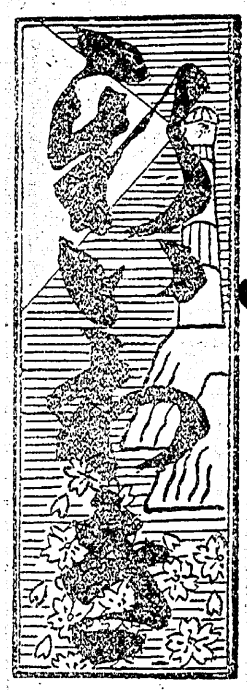
（昭和五年三月廿一日第三種郵便物認可）　昭和十年八月九日〔日刊〕　新いわき　〔金曜日〕第一千五百四十二號　一

八月八日　夕刊



日曜日を除く毎日一回発行
但し一ヶ月二十五錢
刊行物料一ヶ月二十五錢
郵送料十五錢一部二錢
廣告料一行四十錢
廣告料は場所指定、賦金錢相談
發行兼編輯印刷人　牛谷政吉
發行所　磐城平町大町二三
電話平一八番
新いわき新聞社

# 縣の漁業奬勵方針

## 今度は河川漁業へ

### 郡駐と組合に專任指導員を

### 愈々明年度から實現決定

（既報）縣當局が漁村の振興策として遠洋漁業奬勵に乘り出し明年度に於て大型漁船の建造に對し補助金交付の具体案を決定した事は既報の如くだが更らに徹底的漁村振興策として濱通に於ける河川漁業組合への鮭鱒養殖奬勵及組合組織變更後の指導上各郡水産會に駐在技術員の常置計畫を以て臨む事になり來年度豫算に於いて實現を期し目下各般の準備を急いでゐる、即ち該計畫の中養殖補助に就いて本郡では鮫川を指定鮫川漁業組合に對し技術員月給三十圓程度監守人全二十圓、魚卵一萬粒代を交付せんとするもので郡駐在技術員は一人當り日俸七十五圓、旅費年額三百六十圓設備費一千二百圓、消耗品五十圓、通信費二十圓の全額を縣費支出とするもので東北振興會が計畫してゐる郡衙に代る中間機關に先んじ明年度より設備に努めてゐるから實現の曉は本郡漁業界の一大革新を期待されてゐる

# 漸く機を熟した

## 夏井の産業組合

### 今八日小學校に創立委員會

### 經濟更生に相俟つ事業

石城郡夏井村では十五、六年以前から産業組合の設立を計畫され去る大正九年及び同十三年には委員會を見る迄になつたが熟するに至らず以來其の機を得ずにゐたところ今回漸く村民一同に其の要を察まれて同村出身で産業組合石城郡部會主事補木田森之助氏並に村長阿部瀧藏氏等の唱導により村内各種團体幹部の結束を以て去る六日小學校に其の下相談を遂げ今八日午前九時から同じく小學校内に愈よ創立委員會を開き産業組合縣支會からも係員出張前記木田主事補と共に指導説明に當り經濟更生指定村の諸計畫と相まちて組合實現に努むることになつたが一口廿圓とする出資を村内三百九十九戸から最初二百五十人位の加入を見込み一人二口乃至三口より最高三十口を限る平均四口宛として一千口二萬圓の出資に上る譯で初回拂込二圓づゝとせば二千圓の現融資が出來る筈であるから設立委員百廿余名を算するものより見て豫定の倍資に達するであらうと

## 平安會總會

### 戊辰殉難者追悼

平町舊平藩士を以て組織されてゐる平安會では九日午前十時から恒例による戊辰役殉難藩士の追悼會を兼ね平町良善寺本堂に定時總會を開く

# トラック崖下に墜落

## 運轉手無慘の即死

### 上遠野縣道路面が

### 前日の豪雨にゆるんで

上遠野村大字根岸自動車業小野章方運轉手貝泊村生れ水野常雄（三）は七日午後四時頃入遠野村から木材を滿載したトラックを運轉上遠野村境縣道に差しかゝつた際前日の豪雨で地面がゆるんでゐた爲め運轉を誤り高さ七十餘尺の高所から崖下に墜落下敗となつて慘死、同乘の助手外一名も輕傷を負つた

## 前科男が

# 余罪自白

### コソ十一件

昨報平署に檢擧された秋田縣南秋田郡船川町脇本生れ當時住所不定無職前科三犯大山氏治（四〇）は齊藤司法主任係りで嚴重取調の結果昨年七月から十月中まで小名濱町飲食店上遠野セツ方に至り前後十數回に亘り無錢飲食を働いた外十二月七日午後十一時頃港内繫留中の大高丸船中に忍び入り雨合羽一枚代五圓余を今年三月二十日同町立花雄七氏所有漁船共榮丸に忍び入り船中から漁夫の所持品を手當り次第に盜み出した外去月中まで前後十三回に亘り漁船荒しをやつてゐた事を自白した

## 小使錢を

# 國防費に

### 壯丁門馬君が

當時平町四丁目藤岡規方雇人相馬郡金房村大字川房生れ門馬諭（二一）君は六日徴兵檢査で見事甲種に合格したが當日主人から小使として與へられた金二圓を檢査官聯隊區司令官佐藤大佐に『國防費の中に入れて下さい…』と獻金を申出たので司令官も今時珍らしい行爲として感激してゐた

## 磐中同窓會

### 恒例懇親會

平町縣立磐城中學校では十日午後一時から同校講堂に於て定時總會を開催、豫算決算その他の協議後同六時から旗亭谷口樓に於て盛大な懇親會を開く事になつた

## 盆踊の假裝

# 競技會

### 田町青年分團の主催で十五日夜

平町青年團の田町分團では來る舊盆の踊を一層賑かになすべく踊子の假裝競技會を開催し舊十五日の當夜九時から十時に至る役場前の踊場に出演中を分團顧問その他による審査の上一等賞には懸時計一個並に副賞（價約十圓）を贈る外十等までを賞與し尚ほ選外佳作二十名にも紀念賞を贈る筈であるが當夜は此の儘で相當の賑はひを見るであらう

# 驛前を徘徊する

## 擧動不審の男

### 神戸市中荒しと判明

七日午前五時頃平驛前附近を徘徊してゐる擧動不審の男があるのを平署草野刑事が本署に同行取調ると此の男は當時住所不定無職安達郡大平村大字石畑本田惣重（三〇）で南米渡航を企て去る二月から六月中まで神戸市山本通り二町目協和旅に滯在宿泊料四十三圓余を踏み倒して逃走した外同二月中同市山本通り四丁目渡航用品販賣店金子屋から洋服代四十余圓外數件の詐欺を働いてゐた事を自白したが余罪も多い見込で引續き取調中である

## 主なき靈に

# 供養塔

### 平町助成會で行旅病者二十餘の爲め

平町の社會事業助成會では同町に收容された行旅病者九十二人（昭和四年以降）の中死亡二十四人を算し此の中郷家その他に引取られたものは僅かに四名に止まり殘る二十名は全くの無緣佛となつてゐるので同情者の寄附を集め同町八幡小路西部の良善寺墓地に無緣塔を建立したが明九日午後二時會員一同の列席に柳内良善寺住職の讀經で盛大な供養を執行すると

## 松井博士述

# 一票汚れて國汚る（十三）

### 中央報德會

而して今こそ眞にこれが革正の機熟期である、茲に政黨員は勿論、有權者も政府も相協心一致して陛下を基礎とする帝國議會の健全なる發達を期すべき秋である、顧へば我國最初の帝國議會當時には議員は何れも眞に國士とも稱すべき人々を以て充たされてゐたのであつて至誠國家のためにとの一大信念の下に藩閥政府の打破に猛進したのであつた、故に今日に於ても一度我々が堂々決意の下に立てば議會の健全なる發展、政黨の革新期して俟つべきである

現代は政治と經濟との關係頗る複雜化し來たり、此の點を除外して將來の政治上の發展は到底期待し難いものがある、而してこれが爲めには立法方法、豫算審議の手段上に於ても再檢討すべき幾多の點が存すると信ずる、要するに政治は勢であるから、政治機構は時代によつて變遷することを忘れてはならない、議會制度の革新も亦この原則の例外をなすものでないのは勿論である、

今や獨りドイツのみに限らず、世界列國は何れの方面を見るも個人主義より統制主義へと進展しつゝあつて從來の議會政治の再檢討が叫ばれて居るのも動かすべからざる事實である、近時議會政治の本源とも稱すべきイギリスに於てすら、政黨に對する觀念は昔時と大いに其の趣を異にし來つたことは公知の事實である、これ畢竟余りに個人主義が自治体や議會に横行し來つた爲め、斯の如き傾向を生み出したものであらう、議會が經濟界の爲めに左右せられ、爲めに議會が資本家の爪牙となることは世界を通じて近時の通弊である、而して其現象は殊にアメリカに於て屢々見出されたが之が自然に我國へも侵入し來つたかの觀がある


# 謹詰藥

アンチは排とか非とか反對の意で物を打消す消滅の意味にも使ふガソリンのアンチ、ノッキングは其意、ノッキングとは判きりせぬ事解し難い曖昧屋をノッキング、ショップと云

# 四倉臨海學校便り

### 平第一校から（四）

八月四日曇つたり晴れたり朝四時に起きて波立薬師様にお參り。お祭りだつたので大變お參りの人が出てゐました。お參りすると何んでも願ひ事がきくと先生がおつしやいました、遂つちやんは早く泳ぎの上手になるやうにと拜んだと云ひましたから僕もさう拜んだと云ひました、歸り路は海岸廻りにしました。

×

今日は泳ぎの級の印をいただきました、綺麗な鉢卷です、みんなこおどりして喜びました、しつかりと頭に結びつけて泳ぎに出かけました、先生からお聞きして調べた各級の人々、

三級（黑）黑井郁祐　上原武
四級（緑）武田省三　篠原孝吉
若松喬彦　西岡享
小田純也　鵜沼功
佐藤直孝　荻慶三
中根力雄　中川圭二
渡邊善國　小山秀夫
山崎常三
五級（黄）筒井重一
郎　齋藤輝男　北島
武　鈴木良一　齋藤晃一
鈴木才之助
六級（青）色川英
七級（白）その外の人々

午後に寫生しました、いつも泳ぎをする所に行つて築港の方と岬の方とに分れてかきました、僕は岬の方に行きましたが海の寫生ははじめてゞすから一生懸命かきました、けれども風があつて砂が繪具についたり紙についたりしてにくらしくなつてしまひました、一時間位かゝりました、船なんか大變上手にかいた人がゐます、僕は波に失敗しました、動いてゐるものをかくのはむづかしいなと思ひました、あとで皆あつめて展覽會をするのださうです。

# 謹告

謹啓　炎暑の候益々御多祥の段奉賀候陳者恒例により母校同窓會定時總會及懇親會を開催致すべく候に付御多忙中恐縮に候共何卒御出席相成度此段以紙上御案内申上候敬具

磐城中學校同窓會長　關内正一

昭和十年八月八日

一、定時總會　八月十日午後一時（母校内）
一、懇親會　全午後六時（谷口樓）
一、會費　一圓五十錢

## 鄉土史抄

### 故濟先生の遺影を偲ぶ　六

（瀧川家の史料採訪）

飯川漁史

斯くて明治戊辰の最大悲劇たる東北の擧兵となり、九條總督の令は行はれなくなつたから、卿は仙台を脱し秋田に赴き、佐竹を諭して勤王せしめ、尋いで越後に追討軍が之に抵つて援け、九月二十七日莊内を降し、聯なる小藩亦之に倣つて降り、十一月十八日九條總督軍は東京に凱旋した

兵の初め、磐城數藩（棚倉中村、三春、磐城平、守山、泉藩）は一に仙米の招誘に因つて之に加はると雖も、泉湯長谷の如きは夙に歸順不同盟を表明したが、小力を以て大勢に抗しがたく、徒に強藩の牽制に餘儀なく、勤王を全う出來なかつたのは言ふまでもない。殊に泉、湯長谷の如きは、早くから官軍に愬訴する所あつたが、其等向背の事情、分論等は、今本多家記や藩士等の記錄で少しは知られるけれど、其の際最も之に盡力、活動した松井、桑原平野乃至北郷、山内、瀧川諸張の日記を失ひ（煙滅燒失か）但し瀧川氏の「座右重要日記」「辰巳日乘」「東征日記」などあるのみ。併し重要日記は貸與か紛失か既に亡く、以下の二書また全部なく其等の殘篇各一部を藏してゐるから、泉藩の之が史料は孰れも散失して往々正確を缺く間題が惹起する。

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

自慢の品良優も豚も牛
肉の御用命は　三三屋　平町田町

最新流行の『流線型』
お上品な日和下駄、皮製の草履
お履物は（品が豊富で値段の安い）
會津桐自專製門　小松履物店
平警察署通り（電話六七三）

しづかに食事の出來る正しい食堂
正しい喫茶
正しい酒場
平田町レストラン　サロン　電三五二

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

お醤油は……ヤマフル
醤油味噌たひら正宗鰹節食料品
鹽屋　山崎合名會社
電話　本店　二一七〇番　營業部
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

清爽簡易なサンマードレス……婦人用とお子さん用……
特價品豐富陳列
中元贈答用品……各種
ヤルツ
平四一四〇番

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一
內科　院長　醫學博士　石山謙郎（電話六四一番）
小兒科　部長　岩手醫學士　佐藤尚輔
產婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二（電話三七〇番）
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　大町久藏
皮膚泌尿器病科花柳病科　部長　醫學士　前澤正彥（電話二七二番）
X線物療科　醫學博士　石山謙彥
技術員　石本孝平
藥局　藥劑師　吉鈴木寶雄
事務長
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
●……病室完備……入院隨意……●

雨露に晒す程度に煙突は
強く太く煙突は
朝日煙突
耐久性セメント製
朝日煙突
絕對にやぶれない！くさらない！
經濟的で安價！
金屋商店

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關內正一　電話一六番
平町二丁目
事務取扱者　阿部助次郎

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントケン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野恵次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

好評嘖々
たる各種優秀藥
●カクレー（三十三日分）定價一圓十錢
大衆酵母劑
●スピロイン（定價二圓五圓十圓）
強力驅毒劑
平町五丁目角
特約販賣店　山野邊藥局

農村の更生振興に
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
茄果類ではトマト茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壤を惡變する虞は絕對にありません
一俵　廿五錢（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅　平町鎌田　電話六八八番

貨物自動車（トラック）の御用命に應じます